

私の夏の思い出は、「防災デイキャンプ」です。思い出は三つあります。一つ目は、ねる場所の準備をすることです。ねる所は、ダンボールで作りました。作るときお父さんに、好きなように作れと言われたのでまず、囲いを作ろうと思いました。お父さんはそれに、アドバイスをしてくれました。私が作り終わったら、お父さんに屋根を作ったらどうやと言われたので、作ってみました。そしたら、暗いのでとてもねやすかったです。いざとなったときに、作れるようにしようと思いました。

二つ目は、胸骨圧迫です。消防士さんに胸骨圧迫を習いました。胸骨圧迫をするときは、うでをピンとのばして、五センチおして、もどしてをくり返します。私は、三十回やったけれども、三十回だけで疲れてしまいました。その次に三十回やったのをこうごに変えてやります。そのときに、人がたおれたらおとなは、こういう事をやっているのだなと思いました。私は、人がたおれたときすぐに人を助けてあげたいと思いました。

三つ目は、人の運び方を習ったことです。六種類の運び方を習いました。その中でも難しかったのは、もうふの中に人を入れてひっぱるのです。ひっぱるときに、もうふから手がはなれてしまうからです、とくにおとなの人を運ぶときは、二人じゃないと運べませんでした。でも、もしたおれている人がいたら、習った方法で人を助けたいです。

家に帰ってからお父さんと話しているとき今日、習った事を復習することになりました。お父さんは、「消防士かっこいいだろ、人を助けるとよかったと思えるから、いい仕事だろ」と言った。お父さんを見て消防士になるうと思いました。

それをきっかけに、体力をつけ、学力をつけ、努力をして、お父さんみたいになっきたい消防士を目指して、がんばって行きたいと思いました。